

令和元年6月26日
九州地方整備局

記者発表資料

**令和元年6月26日（水）午後0時に
「九州地方整備局渇水対策本部」を設置しました。**

○九州地方整備局渇水対策本部

本部長 九州地方整備局長 伊勢田 敏

○設置理由について

- ① 筑後川水系において、渇水調整を行うこととなったため。
- ② 九州地方整備局管内において、渇水対策支部が複数設置されたため。
 - ・武雄河川事務所渇水対策支部（H31.3.12 設置）
 - ・筑後川河川事務所渇水対策支部（R1.6.20 設置（矢部川））

問合せ先

筑後川水系渇水調整連絡会事務局	九州地方整備局	河川部
	TEL (092) 471 - 6331	(代表)
	(092) 476 - 3522	(夜間直通) 水政課
	(092) 476 - 3525	(夜間直通) 河川環境課
水政課	建設専門官	渡辺 繁城 (内線 3556)
河川環境課	課長補佐	薄田 邦貴 (内線 3652)

記者発表資料

令和元年度第2回筑後川水系渇水調整連絡会の合意事項について

I 渇水調整の背景

昨年10月から少雨傾向が続き、特に本年5月は筑後川の「瀬ノ下地点」上流域平均雨量が51.5mmと過去最少を記録し、さらに6月の梅雨入りも大幅に遅れるなど筑後川水系は非常に厳しい水状況が続いている。

こうした中で、農業用水関係の各利水者においては、域内水源の活用等をはじめ節水に努めているところであり、また、水道事業関係の各利水者においては、6月25日に渇水対策本部を設置し節水等の呼びかけを開始しているところである。

このような状況を受けて、6月25日に福岡県及び佐賀県から筑後川水系渇水調整連絡会の開催要請があり、以下のとおり今後の総合的な水運用のための渇水調整を行うものである。

II 渇水調整事項

1. 福岡県及び佐賀県は、各水道事業者や農業用水の水利使用者等とともに、節水の啓発活動等を行う。
2. 福岡地区水道企業団、福岡県南広域水道企業団及び佐賀東部水道企業団は、江川・寺内ダムの貯水量のうち約80万 m^3 を両筑平野用水の農業用水へ融通する。
3. 福岡地区水道企業団及び福岡県南広域水道企業団は、江川・寺内ダムの貯留水と大山ダムの貯留水を統合し使用する。

問合せ先

○筑後川水系渇水調整連絡会事務局

・九州地方整備局 河川部 TEL (092) 471 - 6331 (代表)

水政課 (092) 476 - 3522 (夜間直通)

水政調整官 井上 和博 (内線 3515) 建設専門官 渡辺 繁城 (内線 3556)

河川環境課 (092) 476 - 3525 (夜間直通)

河川環境課 課長 長岡 一成 (内線 3651) 課長補佐 薄田 邦貴 (内線 3652)

・福岡県 県土整備部 (092) 643 - 3204

水資源対策課 課長 江崎 雅彦

参事 武藤 弘